

株式会社 エム・シー・ファシリティーズ

貸借対照表

令和 5 年 3 月 31 日現在

(単位:千円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	546,677	流動負債	441,243
売掛金	101,980	買掛金	54,208
前払費用	22,736	未払金	160,251
未収入金	45,348	未払費用	27,214
未収収益	1	未払法人税等	20,465
短期貸付金	376,612	未払消費税等	18,289
		預り金	3,716
		賞与引当金	157,100
固定資産	119,217	固定負債	79,568
有形固定資産	13,135	退職給付引当金	79,568
建物	114	負債合計	520,811
工具器具備品	13,021	(純資産の部)	
無形固定資産	7,263	株主資本	145,083
ソフトウェア	7,237	資本金	50,000
電話加入権	26	資本剰余金	8,903
投資その他の資産	98,819	資本準備金	8,903
差入保証金	1,014	利益剰余金	86,180
長期前払費用	1,118	利益準備金	12,500
繰延税金資産	95,070	その他利益剰余金	73,680
その他	1,618	繰越利益剰余金	73,680
		純資産合計	145,083
資産合計	665,894	負債及び純資産合計	665,894

・付記事項

当期純利益金額 72,684 千円

## I. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

### 1. 棚卸資産の評価基準及び評価方法

貯 蔵 品 個別法に基づく原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)を採用しております。

### 2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産は、主に定率法を採用しております。

ただし、平成 28 年 4 月 1 日以降に取得した建物附属設備については定額法を採用しております。

なお、主な耐用年数は以下のとおりであります。

建 物 6 年  
工具器具備品 4 年～20 年

(2) 無形固定資産は、定額法を採用しております。

なお、ソフトウェアについては社内における利用可能期間(5 年)に基づく定額法を採用しております。

### 3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権について実績繰入率等により、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、翌期の支給見込額のうち当期の負担見込額を計上しております。

(3) 退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、計上しております。

なお、退職給付債務の計算については簡便法を採用しております。

### 4. 収益及び費用の計上基準

業務委託契約に係る収益は、主にオフィスに関する業務であり、オフィス管理サービスそのものを提供する履行義務を負っております。当該履行義務は、役務提供完了時点で収益を認識しております。

当社が代理人として商品の販売に参与している場合には、純額で収益を認識しております。

5. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項  
グループ通算制度を適用しております。

## II. 貸借対照表に関する注記

1. 関係会社に対する金銭債権・債務

短期金銭債権	42,917 千円
短期金銭債務	69,168 千円

2. 有形固定資産の減価償却累計額 18,320 千円

## III. 税効果会計に関する注記

1. 繰延税金資産の発生の主な原因別の内訳

賞与引当金	54,357 千円
賞与引当金 社会保険料	9,411 千円
未払事業税	2,969 千円
未払事業所税	803 千円
退職給付引当金	27,530 千円
繰延税金資産(純額)	<u>95,070 千円</u>

## IV. 一株当たり情報に関する注記

1. 一株当たり純資産額 1,450.83 円
2. 一株当たり当期純利益 726.84 円